

# 安全報告書 2026

(2025年度分)



函館山ロープウェイ株式会社

## 1. ご挨拶

皆様には、日頃より函館山ロープウェイをご利用いただき、誠にありがとうございます。

ロープウェイの運行にあたりましては、常に「安全こそ基本である」をモットーに、利用される皆様に安全かつ安心してご乗車いただけるよう、従業員一同、日々業務に取り組んでおります。

さて、弊社の2025年度の輸送人員につきましては、クルーズ客船の寄港数が76隻と過去最多となったことに加え、国内線の増便や韓国路線の就航など航空ネットワークの拡充も追い風となって多くの皆様にご利用いただき、歴代3位となる193万人を記録しました。

本年度は、イラン情勢の悪化、長期化によるガソリン価格急騰により道内観光客等の旅行需要の減退や6月以降にはチェジュ航空の函館－仁川直行便の運休による韓国客の減少などが懸念されますが、クルーズ客船が昨年度と同水準の75隻以上の寄港が予定されていることに加えて、函館を最終舞台とする人気テレビアニメ「ゴールデンカムイ」とのコラボイベントが展開されることなどから、引き続き高水準の集客が期待される所です。

昨年度に課題として挙げた山頂展望台の混雑緩和につきましては、AIカメラによる混雑度の見える化に続き混雑予測情報の発信が始まったほか、国の補助金も活用して山頂展望台のロードヒーティング工事を施工し冬季間も夏と同様の広さで函館山からの景色を楽しんでいただけるように致しました。今後とも函館市をはじめとする関係機関と連携し、更なる利用環境の整備を図り、円滑な輸送の確保と顧客満足度の向上に努めてまいります。

こうした状況のなか、本年度の整備点検につきましては20日間を予定しており、多くのご利用の皆様や地域の皆様に多大なご迷惑をおかけすることとなりますが、何卒ご理解とご了承を賜りますようお願い申し上げます。

本報告書は、鉄道事業法に基づき、弊社における輸送の安全確保に向けた取り組みや実態についてまとめたものでございます。安全管理体制を今後さらに充実させていくため、皆様からの忌憚のないご意見・ご感想をお寄せいただければ幸いに存じます。

これからも、函館山ロープウェイをよろしく願い申し上げます。

函館山ロープウェイ株式会社

代表取締役社長 浅井 忠美

## 2. 安全に関する基本的な方針

### (1)基本方針

当社は、安全第一の意識のもと事業活動を行う体制の整備に努めるとともに、輸送の安全確保を最優先とする「基本方針」を定め、社長以下全社員がこれを理解・共有し、安全で感動のあるサービスの提供に取り組んでいます。

#### 【基本方針】

- 「安全こそ基本である」
- 一致団結して輸送の安全の確保に努めます。
- 輸送安全に関する法令及び関連する規程（本規程を含む。以下、「法令等」という。）をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行します。
- 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めます。
- 職務の実施に当たり、推測に頼らず確認の励行に努め疑義のある時は最も安全と思われる取り扱いをします。
- 事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置をとります。
- 情報は漏れなく、迅速かつ正確に伝え、透明性を確保します。
- 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦します。

### (2)安全目標

当社では、基本方針に基づき、安全第一の意識のもと事業活動を行う体制の整備に努めるとともに、輸送の安全確保と事故防止を目的として、安全目標を策定し、全社員に周知・徹底しています。

【安全目標】 2025年度に掲げた安全目標は、次のとおりです。

## 無事故を最大の目標とし、安全運行の徹底

### (3)安全目標の実施結果

2025年度は、事故なく安全に運行することができました。4月29日にサイリスタ盤の故障による運休が発生しましたが、当社およびメーカーの迅速な対応により影響を最小限に抑えることができました。また、部内情報共有のためのミーティングの開催や作業手順の見直し、KY活動およびヒヤリハットの活用などを実施し、作業環境の改善と作業事故防止に努めました。

2026年度も引き続き、注意深い点検と確実な整備の実施、指さし確認や声掛けの徹底など安全対策を強化し、安全運行に努めてまいります。

#### (4)2026年度 安全目標および安全重点施策の策定

##### 【安全目標】

**無事故を最大の目標とし、「安全・安心」を根底とした運行の徹底**

##### 【安全重点施策】

- 1 計画的な点検・作業の実施と安全対策の徹底
- 2 設備の経年劣化を考慮した整備および予備品の在庫管理の徹底
- 3 安全具着用の徹底およびKY活動・ヒヤリハットの活用による事故防止

### 3. 当社の安全管理体制安全

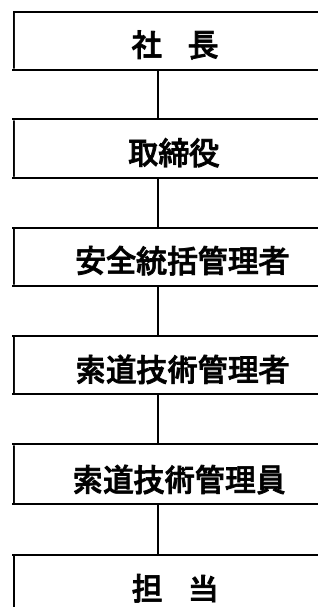
#### (1)安全管理体制の確立

当社では、社長をトップとする安全管理組織を構築し、各責任者の役割および権限を社内規程等により明確にしております。

また、運行の安全確保を図るため、安全マネジメント体制の維持・向上に向けた施策を推進するとともに、安全運行に係る事項の情報共有や対策の検討を実施しております。

#### 函館山ロープウェイ

#### 安全管理体制図



**社 長** 輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。

**安全統括管理者** 索道事業の輸送の安全確保に関する業務を統括する。

**索道技術管理者** 安全統括管理者の指揮の下、索道の運行の管理、索道施設の保守の管理、その他の技術上の事項に関する業務を統括する。

**索道技術管理員** 索道技術管理者の指揮の下、索道の運行の管理、索道施設の保守の管理、その他の技術上の事項に関する業務について、索道技術管理者の補助をする。

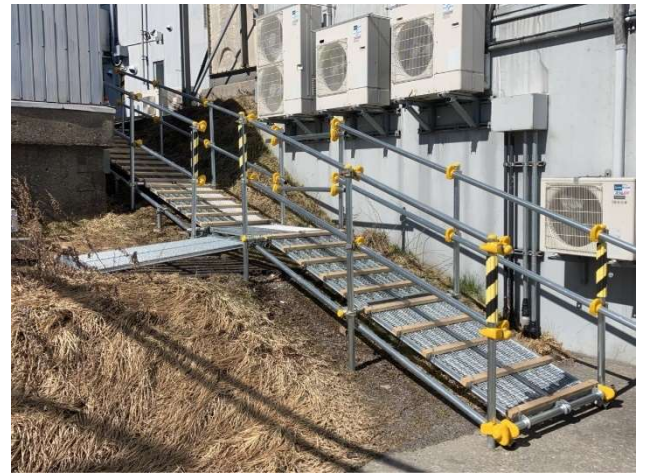
## (2)ヒヤリハット報告

当社では、各部署からのヒヤリハット報告について、安全衛生委員会において集約し、安全確保のために役立てております。また、得られた情報をもとに対策を検討し、社内で共有することで、さらなる安全活動の活性化に取り組んでおります。

## (3)ヒヤリハット報告による改善事例

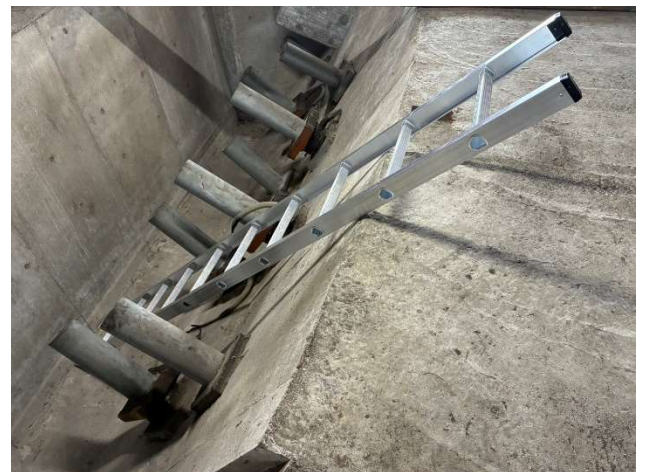
山頂支索碇礎から緊張滑車へ向かう木製階段が、経年劣化により崩れている状態であった。通行時に足を踏み外すなど、転倒災害のリスクが高い状況であったため、安全対策として仮設階段および手すりを設置し、通行路を整備した。

これにより、作業員の移動時の安全性が向上し、転倒事故の防止を図った。



一連はしごによる昇降が行われている箇所について、はしご上部の突き出しが確保されておらず、昇降時に転落するおそれがあった。また、滑り止めキャップが床面に十分接地しておらず、不安定な状態であった。安全対策として、上部の突き出しが確保でき、床面側を自在式としたはしごを採用し、設置時の安定性向上を図った。

これにより、昇降時の安定性が向上し、転落災害の防止につながる改善を行った。



## 4. 2025年度 事故等の発生状況

### (1) 索道運転事故

2025年度、索道運転事故はありませんでした。

### (2) 災害

2025年度は、津波警報発令により1回の運休がありました。

そのほか、悪天候による運休が23回、函館山公園管理設備のうち給水設備の不具合による運休が4回、サイリスタ盤の故障による運休が1回、合計29回の運行を中止しました。

### (3) インシデント(事故の兆候)

2025年度、インシデント報告はありませんでした。

### (4) 行政指導等

2025年度、行政指導はありませんでした。

## 5. 輸送の安全確保のための取組み

### (1) 人材教育

- 当社では、係員に対し教育訓練を行い、作業を行うのに必要な知識及び技能を保有していることを確認し、当該作業を行わせる。
- 係員が知識及び技能を十分に発揮できない心身状態にあると認められたときは、その作業を行わせない。
- 係員の資質の充足状況に疑義のある報告を受けた場合、知悉度を確認した上で必要な教育計画を策定し、教育訓練を実施する。

### (2) 安全講習の受講

- 2025年度は、10月28日にコンサルタントによる「ヒューマンエラー対策実践セミナー」を受講しました。



### (3) 技術ミーティングの実施

#### ●ミーティングの主な内容

- ・作業中の安全確保と作業手順書の効果的方法・ヒヤリハット事例について。
- ・2025年度の一年整備点検の作業内容や役割分担・交換部品の準備について。
- ・若手社員の教育実施について。
- ・次代を見据えた索道設備投資計画について。



### (4) 緊急対応訓練の実施

事故発生時における対応を定めた運転取扱細則及び救助作業要領に基づき、係員が迅速かつ的確に対応できるように、係員の役割を定めるとともに、定期的に救助等に関する訓練を実施。

#### ●予備原動機運転訓練

安定した運行の確保と非常時への対応力向上を目的として、運行途中に走行不能となった事態を想定し、非常用電源への切り替えや予備原動機による運転訓練を定期的実施し、運転技術の向上に努めました。



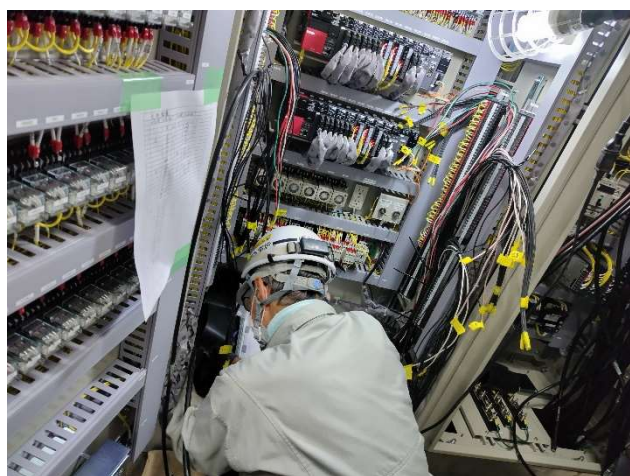
## ●救助装置取扱い訓練及び器具点検

機械故障等の非常時を想定した救助訓練を定期的の実施し、救助装置の取扱いの習熟に努めるとともに、安全かつ迅速に対応できるよう取り組みを継続しました。また、函館市消防本部との合同救助訓練を6月15日に実施しました。



## (5)安全のための投資と支出

設備の経年劣化が進行しており、故障や動作不良等の発生リスク低減を目的として、2025年度は制御システム、主原動機、主減速機、運転盤、監視盤の更新および耐雷盤の設置工事を、10月9日から11月9日まで実施しました。制御システムの更新および耐雷盤の設置については、工事費を含め約3億6千万円の設備投資となりました。また、制御システムの予備品購入に約3,300万円を投資しました。今後も設備の計画的な更新および保安対策を進め、安全性のさらなる向上に努めてまいります。あわせて、設備の安定稼働と事故防止を図り、安全で信頼性の高い索道の運行に取り組んでまいります。



## 6. お客様からのお声

「お客様のお声をかたちにしています。」

お客様の期待に応えられるよう、お客様の立場にたったサービスの提供に努めています。

皆様からお寄せいただいたお声は真摯に受け止め、より信頼される索道をつくるために役立てます。

※メールをご利用される方は、ホームページ内の「お問い合わせ」からお寄せ下さい。